

樹脂製建具（コンクリート系下地および鉄骨下地）／②B種

1. 評価対象

「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「標仕」という。）令和7年版16章3節に規定する樹脂製建具のB種とし、既製の無可塑ポリ塩化ビニル製建具用型材等を用いて通常製作している建具とする。したがって、新たに型材を製作するもの等は、対象としない。なお、耐風圧性、気密性および水密性の等級は、以下による。

細目	耐風圧性	気密性	水密性
①A種	S-4	A-4	W-4
②B種	S-5		W-5
③C種	S-6		

2. 品質・性能等

- 品質・性能について、「評価内容（別紙）」の項目を確認している。
- 主要な資材について、材質および資材メーカーから申請者の製造所への納入ルートを確認している。
- 性能について、実施要領に規定する試験機関による試験結果等で確認している。

3. 評価名簿詳細事項

- 材料の開閉方法による種類、性能等級等の詳細は、「評価名簿詳細事項」として掲載している。
- 「開閉方法による種類」、「引違い製作可能最大寸法」は、申請者の申請のとおり示している。
- 「性能等級」は、引違いの試験性能を示しており、引違いがない場合は、その他の代表的な開閉方法の試験性能を示している。

樹脂製建具（コンクリート系下地および鉄骨下地）／②B種

評価内容（別紙）

項目		品質・性能		備考	
材 料	樹脂形材	ビカット軟化温度		83℃以上	
		引張降伏応力		36.8MPa以上	
		曲げ弾性率		2000MPa以上	
		シャルピー衝撃値	窓用形材	23℃	45.0KJ/m ² 以上
				-10℃	18.0KJ/m ² 以上
		耐燃性	押出形材	不燃性 1)	
	共押出形材		HB級 2)		
			注1)：JIS K 6911の5.24「耐燃性」に規定するA法によって測定し、3試験片とも不燃性であること。 注2)：JIS K 6911の5.24に規定するC法によって測定し、3試験片ともHB級であること。また、炎が25.4mm標線に達せずに消えても材料性能を満足すること。		
	樹脂形材の外観		表面にきず、凹凸、割れ、異物などの樹脂製建具として使用上の有害な欠陥がないこと。		
	ステンレス鋼板	材質	JIS G 4305によるSUS304、SUS430J1LまたはSUS443J1		
くつずり	材質	JIS G 4305によるSUS304、SUS430J1LまたはSUS443J1			
	厚さ	1.5mm			
	表面仕上げ	HL			
補強材、力骨、アンカー等		鋼製、ステンレス製またはアルミニウム合金とする。 鋼製のものは、亜鉛めっき等の接触腐食の防止措置を講ずる。			
気密材		耐久性を有し、使用箇所に適したものとする。			
戸車、振れ止め、戸当たりの類		同上			
小ねじ等		ステンレス製			
ガラス		JIS R 3209による。			
ガラス留め	シーリング材の場合	JIS A 5758によるシリコーン系			
	グレイジングガasketの場合	JIS A 5756に準じた塩化ビニル系、合成ゴム系			
型材の性能	反り	押出成形方向に対して、1.0mm/m以内とすること。			
	加熱伸縮率	試験したとき、絶対値が、2.5%以下であること。			
	加熱後の表面変化	試験したとき、気泡、割れ、表面はく離などの表面変化がないこと。			

樹脂製建具（コンクリート系下地および鉄骨下地）／②B種

項目		品質・性能	備考																										
型材の性能 (続き)	耐候性	変退色	試験したとき、室外側表面は、JIS L 0804 で規定する変退色用グレースケール3～5号の範囲内であること。																										
		促進暴露試験後のシャルピー衝撃値	試験したとき、窓用型材のうちの押出型材は23 ± 2℃で、31.5kJ/m ² 以上であること。																										
	コーナー溶着性能	試験したとき、①または②を満足すること。ただし、窓用型材の組立に、ビス組みなどの機械的な緊結方法および接着などの化学的な方法を行う場合や、アルミニウムと樹脂から構成される複合サッシは除く。 ①最大応力：平均値 12.0M Pa 以上、かつ、各々8.0M Pa 以上 ②最大力：平均値 2500N 以上、かつ、各々1500N 以上																											
形状・仕上げ	枠、かまち等主要部型材に用いる外周部（リブや突起部を除く。）の樹脂肉厚		表面強度を保つように2.0mm以上とすること。																										
	ガラスのはめ込みの構造		押縁（外押縁または内押縁）およびグレイジングガスケットが使用できる構造とすること。																										
	網戸の取付け		外部に面する引違い窓・片引き窓は、容易に取り付けられる構造とすること。																										
	ガラス溝の寸法、形状等		申請者の規定による。																										
	外部に面する建具の水抜き孔		外部に面する網入り板ガラス、線入り板ガラス、合わせガラス及び複層ガラスを受ける下端ガラス溝には、径6mm以上の水抜き孔を2か所以上設ける。また、セッティングブロックによるせき止めがある場合には、セッティングブロックの中間に1か所追加する。																										
	外部に面する建具		構成部材接合部からの水漏れおよびすきま風を防止するように、枠およびかまちは溶着接合とすること。																										
	製品の寸法許容差		<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象部位</th> <th>サッシ・ドアセットの寸法 (mm)</th> <th>許容差 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">枠の幅</td> <td>2,000未満</td> <td>± 1.5</td> </tr> <tr> <td>2,000以上 3,500未満</td> <td>± 2.0</td> </tr> <tr> <td>3,500以上</td> <td>± 2.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">枠の高さ</td> <td>2,000未満</td> <td>± 1.5</td> </tr> <tr> <td>2,000以上 3,500未満</td> <td>± 2.0</td> </tr> <tr> <td>3,500以上</td> <td>± 2.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">枠見込</td> <td>120未満</td> <td>± 1.0</td> </tr> <tr> <td>120以上 150未満</td> <td>± 1.5</td> </tr> <tr> <td>150以上 200未満</td> <td>± 2.0</td> </tr> <tr> <td>200以上</td> <td>± 2.5</td> </tr> </tbody> </table>	対象部位	サッシ・ドアセットの寸法 (mm)	許容差 (mm)	枠の幅	2,000未満	± 1.5	2,000以上 3,500未満	± 2.0	3,500以上	± 2.5	枠の高さ	2,000未満	± 1.5	2,000以上 3,500未満	± 2.0	3,500以上	± 2.5	枠見込	120未満	± 1.0	120以上 150未満	± 1.5	150以上 200未満	± 2.0	200以上	± 2.5
	対象部位	サッシ・ドアセットの寸法 (mm)	許容差 (mm)																										
	枠の幅	2,000未満	± 1.5																										
		2,000以上 3,500未満	± 2.0																										
3,500以上		± 2.5																											
枠の高さ	2,000未満	± 1.5																											
	2,000以上 3,500未満	± 2.0																											
	3,500以上	± 2.5																											
枠見込	120未満	± 1.0																											
	120以上 150未満	± 1.5																											
	150以上 200未満	± 2.0																											
	200以上	± 2.5																											
相対する辺寸法の差		<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象部位</th> <th>サッシ・ドアセットの寸法 (mm)</th> <th>相対する辺寸法の差 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">枠の幅</td> <td>2,000未満</td> <td>2以下</td> </tr> <tr> <td>2,000以上 3,500未満</td> <td>3以下</td> </tr> <tr> <td>3,500以上</td> <td>4以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">枠の高さ</td> <td>2,000未満</td> <td>2以下</td> </tr> <tr> <td>2,000以上 3,500未満</td> <td>3以下</td> </tr> <tr> <td>3,500以上</td> <td>4以下</td> </tr> </tbody> </table>	対象部位	サッシ・ドアセットの寸法 (mm)	相対する辺寸法の差 (mm)	枠の幅	2,000未満	2以下	2,000以上 3,500未満	3以下	3,500以上	4以下	枠の高さ	2,000未満	2以下	2,000以上 3,500未満	3以下	3,500以上	4以下										
対象部位	サッシ・ドアセットの寸法 (mm)	相対する辺寸法の差 (mm)																											
枠の幅	2,000未満	2以下																											
	2,000以上 3,500未満	3以下																											
	3,500以上	4以下																											
枠の高さ	2,000未満	2以下																											
	2,000以上 3,500未満	3以下																											
	3,500以上	4以下																											

樹脂製建具（コンクリート系下地および鉄骨下地）／②B種

項目		品質・性能		備考		
加工・組立	建具の製作、ガラス・押縁のはめ込み	原則として建具の製造所で行うこと。				
	枠、くつずり、水切り板等のアンカー	建具に適したものとし、両端から逃げた位置から、間隔 500mm 以下に取り付けること。				
	雨水侵入のおそれのある接合部の措置	その箇所に適したシーリング材または止水材を用いて止水処理を行うこと。				
	枠・戸に付属品を取付けるための補強	必要に応じて、施されていること。				
	水切り、ぜん板、額縁、ガラリ等の付帯品	必要に応じて、取り付けられること。				
建具の性能	ねじり強さ (ドアセットの場合)	載荷荷重 200N	試験後、開閉に異常がなく、使用上支障が生じないこと。			
	鉛直荷重強さ (ドアセットの場合)	載荷荷重 500N	試験後、残留変位が 3mm 以下で、開閉に異常がなく、使用上支障が生じないこと。			
	耐衝撃性 (ドアセットの場合) 注)：スライディングおよび戸の面積の 50% 以上をガラスが占めるものは適用外	落下高さ 170mm	1回の衝撃で有害な変形がなく、開閉に異常がなく、使用上支障が生じないこと。ただし、ガラスの破損は判定に含まない。			
	開閉力	載荷荷重 50N	試験後、戸が円滑に開くこと、また、戸が円滑に閉じること。			
	開閉繰り返し	一般の窓	開閉回数 1万回	試験後、開閉に異常がなく、使用上支障が生じないこと。		
		掃出し窓	開閉回数 3万回			
		ドアセット	開閉回数 10万回			
	戸先かまち強さ (サッシでスライディングの場合)	載荷荷重 50N	面内方向のたわみが 1mm 以下で、かつ、面外方向のたわみが 3mm 以下であること。			
	外部に面する建具の耐風圧性		等級	S-5	1. 加圧中、戸のはずれおよび破壊が生じないこと。 2. 除圧後、開閉に異常がなく、使用上支障が生じないこと。 3. 変位またはたわみ率は、以下による。	
			最高圧力	2400Pa		
部位			変位またはたわみ率			
スライディングの召合せかまち、突合せかまち、召合せ中骨またはスイングの両開きなどの召合せかまちと各部材に平行する方向の内のり寸法の変位			1/70 以下			
スイングの枠、無目、方立など、戸の周辺に接する部材の相対変位			15mm 以下			
無目、方立がある場合のたわみ率			1/100 以下			
構成するガラスの1枚の厚さが 6.8mm 以上の場合のたわみ率			中棧及び中骨			1/150 以下
			召合せかまち 突合せかまち	中棧あり		1/85 以下
				中棧なし		1/100 以下
			召合せ中骨 枠付け中骨	中棧あり		1/85 以下
中棧なし	1/100 以下					

樹脂製建具（コンクリート系下地および鉄骨下地）／②B種

項目		品質・性能					備考
建具の性能 (続き)	外部に面する建具の気密性	気密性の等級	A-4				
		気密等級線	A-4等級線				
		通気量が JIS A 4706 の図-1 に規定する気密等級線以下であること。					
	外部に面する建具の水密性	水密性の等級	W-5				
		サッシ前後の圧力差	500Pa				
		加圧中に JIS A 1517 に規定する枠外への流れ出し、しぶき、吹き出し、あふれ出しの状況が発生しないこと。					
遮音性 [付帯性能]	遮音性の等級	T-1	T-2				
	遮音等級線	T-1等級線	T-2等級線				
	125Hz～4000Hz の 16 点における音響透過損失が、JIS A 4706 の図-2 に規定する遮音等級線に対して、表 1 遮音性の a) または b) のいずれかに適合すること。						
断熱性 [付帯性能]	断熱性の等級	H-4	H-5	H-6	H-7	H-8	
	熱貫流率 W / (m ² ・K)	2.9 以下	2.3 以下	1.9 以下	1.5 以下	1.1 以下	
	注)：熱貫流率は、試験による場合、JIS A 4710 による標準化熱貫流率とする。						
日射熱取得性 [付帯性能]	日射熱取得性の等級	N-1		N-2		N-3	
	日射熱取得率	1.00		0.50		0.35	
防火性能 [付帯性能]	申請者の規定による。						
試験方法	<ol style="list-style-type: none"> 試験一般は、JIS A 4702 の「9.1一般」、JIS A 4706 「9.1一般」または JIS A 5558 の「9.1一般」による。 樹脂形材の材料試験は、JIS A 5558 の「付属書 A」による。 樹脂形材の外観試験は、JIS A 5558 の「9.2 形材の外観」による。 反りの測定は、JIS A 5558 の「9.3 反りの測定」による。 加熱伸縮率の測定は、JIS A 5558 の「9.4 加熱伸縮率の測定」による。 加熱後の表面変化の測定は、JIS A 5558 の「9.5 加熱後の表面変化の測定」による。 耐候性能の測定は、JIS A 5558 の「9.6 耐候性能の測定」による。 コーナー溶着性能の測定は、JIS A 5558 の「9.7 コーナー溶着性能の測定」による。 ねじり強さ試験は、JIS A 1523 による。 鉛直荷重強さ試験は、JIS A 1524 による。 耐衝撃性試験は、JIS A 1518 による。ただし、JIS A 1518 の「5.3(6)繰り返し試験」は除くものとする。 開閉力試験は、JIS A 1519 による。 開閉繰返し試験は、JIS A 1530 による。 戸先かまち強さ試験は、JIS A 1522 による。 耐風圧性試験は、JIS A 4702 の「9.7 耐風圧性試験」または JIS A 4706 「9.4 耐風圧性試験」による。 気密性試験は、JIS A 4702 の「9.8 気密性試験」または JIS A 4706 「9.5 気密性試験」による。 水密性試験は、JIS A 4702 の「9.9 水密性試験」または JIS A 4706 「9.6 水密性試験」による。 遮音性試験は、JIS A 4702 の「9.10 遮音性試験」または JIS A 4706 「9.8 遮音性試験」による。 断熱性試験は、JIS A 4710 による。なお、断熱性能を計算により行う場合は、JIS A 2102-1 および JIS A 2102-2 による計算書に加え、JIS Q 1000 および JIS Q 17050-1 による自己適合宣言書を提出する。また、試験結果は、有効数字 2 桁で表すこととする。 試験体は、シリーズを代表する建具で、複層ガラスの組合せごと、かつ、枠見込み寸法ごととし、寸法は W1800mm × H1700mm 程度とする。開閉繰返し試験の試験体は、耐風圧性が一番低い申請品とする。また、引違い戸の試験対象障子は、内障子とする。 コーナー溶着性能の試験体に使用する形材の種類は、20. の建具の代表的な形材とするが、異断面の溶着がある場合は、同断面形材同士で作成した試験体でも可とする。 形材の形状により別途試験が必要と判断されるときは、協会と協議する。 						